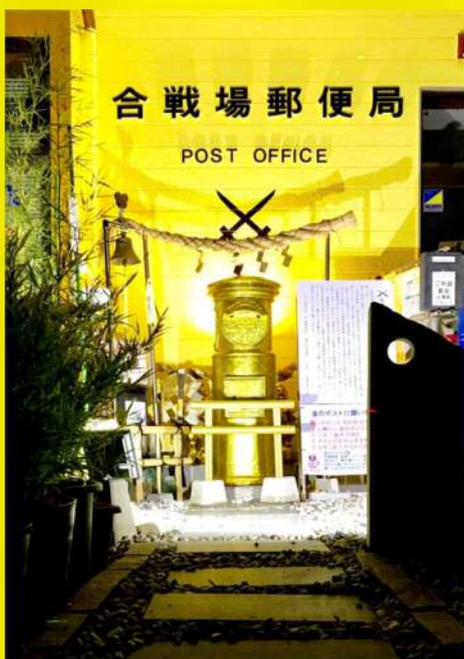
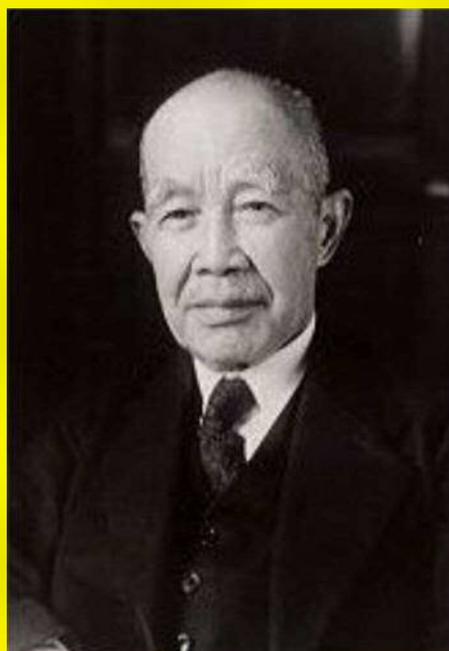


金かっせんばのポストで全国区の合戦場は  
日立製作所創業者 小平浪平翁おだいらなみへいの生誕地で  
ものづくりの聖地です



合戦場郵便局金のポスト



日立製作所創業者小平浪平翁



## 合戦場の知名度は全国区

駅名「強そうな」で2位「かっこいい」でノミネート

・日立製作所創業者 小平浪平氏生誕地

・合戦場郵便局の「きっと日本一！金のポスト」

合戦場郵便局北側「合戦場の知名度は全国区」横断幕

「強そうな駅名」、「かっこいい駅名」、「金のポスト」で全国区の合戦場は、  
日立製作所創業者 小平浪平翁の生誕地です。

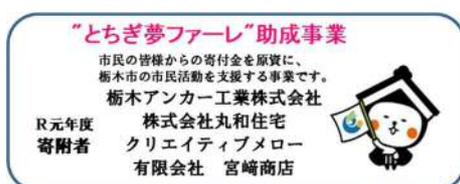
この冊子は、多くの皆様に合戦場を知っていただくために作成しました。

# 目次

合戦場の地名の由来と日光例幣街道 . . . 1
合戦場周辺の地名の由来 . . . 5
瀬戸内寂聴さんも訪れた首切り場 . . . 7
世界に誇る日立製作所創業者小平浪平翁生誕地の合戦場 . . . 8
小平浪平翁に関係の深い人物 . . . 9
小平浪平翁を支えた兄儀平氏について . . . 10
栃木市に寄贈される小平儀平氏の卒業證等 9 点 . . . 12
浪平翁が栃木小学校へ通っていた明治 19 年頃の栃木町と合戦場の地図 . . . 13
合戦場小学校 3 階 歴史資料館 . . . 14
合戦場小学校に寄贈された小平記念図書館（現存しない） . . . 15
小平浪平生誕地が栃木市に寄贈されました . . . 19
小平浪平翁生誕地の風景 . . . 20
晃南塾開塾 . . . 21
小平浪平生誕地の碑の後ろの石は神の峯からのパワーストーン . . . 22
金のポスト作成の由来 . . . 24
テレビ放送されたひとこま . . . 27
いいねスポット！映えるとちぎに認定 . . . 28
読賣新聞えきものがたり東武編に金のポストが紹介されました . . . 29
ご朱印風 . . . 30
合戦場繁栄の証 昭和 2 年のガソリン消防ポンプ . . . 31
旬鮮麺処不二屋で開運メニュー . . . 32
栃木県で人気の本多こうじ屋 . . . 34
合戦場でステーキ . . . 36
合戦場の知名度を全国区にする会作成の開運グッズ . . . 37

この冊子は、過去に作成された単品の情報誌を冊子にしたものですので、フォントや体裁が統一していない部分が多くなっております。あらかじめご了承ください。

この資料は、令和元年度の栃木市民活動推進事業費補助金  
“とちぎ夢ファーレ” から一部助成をいただき作成されています。



# 合戦場の地名の由来と日光例幣使街道

大永3年(1523)に宇都宮城主宇都宮忠綱(うつのみやただつな)と、皆川城主皆川宗成(みながわむねしげ)が、現在の合戦場・升塚・平川の広範囲で戦い、なかでも現在の合戦場駅西部(川原田町)が激戦の地となり(河原田合戦 ※1)、この戦場跡が合戦場※2の地名になりました。

江戸時代には、日光例幣使街道 ※3(にっこうれいへいしかいどう)の宿場町になり、日光東照宮へ金幣を運んだ日光例幣使によって宿場に莫大な富をもたらしたため、金運・開運の町と云われるようになりました。

※1:現在の地名が川原田町なので一般に川原田合戦とも呼ばれています。

※2:長野市にも合戦場は存在しますが、自治会組織が存在するのは栃木市都賀町合戦場のみです。

※3:文献では日光例幣使道が正しいようですが、徳川家康を祀っている日光東照宮へ続く街道なので、栃木県では一般に日光例幣使街道と呼ばれています。

元号が令和になり、

頭文字を取ると、令<sup>れい</sup>和(R)平<sup>へい</sup>成(H)昭<sup>し</sup>和(S)、  
<sup>れいへいし</sup>**RHS**となり、例幣使街道が再度話題になる予感がします。

## 日光例幣使街道とは

日光例幣使とは、徳川家康の没後、日光東照宮の例大祭(4月17日)に金の御幣(きんぺい※)を奉納するために朝廷より遣わされた勅使のことで、「毎年恒例に金幣を奉納する使い」なので例幣使といたしました。このときの往路となった道が日光例幣使街道です。

日光例幣使の一行は、50人ほどの行列を組んで4月1日に京都を出発し、中山道を通じて4月11日に倉賀野宿(高崎市)に入ります。倉賀野からが日光例幣使街道です。日光例幣使街道は太田、栃木などの宿場を経て楡木(鹿沼市)に入り、今市で日光街道に合流します(楡木から先は壬生街道が合流し、楡木ー今市間は正確には壬生街道ですが、一般に日光例幣使街道と呼ばれます。)

その後、日光例幣使は4月15日に日光東照宮に到着したようです。

日光例幣使街道は往路に用いられ、復路は日光街道、東海道が利用されました。日光例幣使は、1647年から1867年まで221年間休まずに派遣されました(日光例幣使街道は明和元年(1764)に道中奉行の管轄となり五街道並みに格上げ。)

日光例幣使街道には、倉賀野、玉村、五料、柴、境、木崎、太田、八木、梁田、天明(てんみょう)、犬伏、富田、栃木、「合戦場」、金崎、楡木(にれぎ)、奈佐原、鹿沼、文挟(ふばさみ)、板橋、今市の21宿があります。

※ 金幣の長さは四尺ほど(約130cm)といわれています。

## 日光例幣使に任命される人はどんな人？

多くが公卿（三位以上）の家筋の者で、格式官位は四位と高いのですが、禁中並公家諸法度（1615）により極貧生活でした（一部下級公家も任命されていました。）。

伊勢神宮の天照大神を祀る天皇家が、朝廷が与えた神号とはいえ、日光東照宮の東照大権現を祀る徳川家に勅使を遣わせることはとても屈辱的なことですが、例幣使になれば「一財産が築け、極貧生活からの脱却！」と、争ってまで例幣使になりたがったようです。

## 行程は？

4月1日に京都の三条大橋を出発 → 中山道経由 → 倉賀野（高崎市） → 日光例幣使街道 → 4月15日に日光東照宮に到着する14泊15日の旅です。



ちゃんと歩ける例幣使 壬生道より

## 費用はどのくらいかかるの？

山城国相楽郡の年貢の内から 330 石余りが代銀で与えられました。

文政8年（1825）の相場だと銀で約 20 貫 420 匁、金に換算すると 319 両ほど（江戸時代の 1 両をお米、大工、蕎麦の平均で 13 万円として、今のお金で 4,147 万円ほどにもなります。）。例幣使には 216 両＝2,808 万円も支払われました。

その年に派遣される日光例幣使は 3 月に朝廷から任命されるので、4 月 1 日の出発に間に合うよう随員の編成にとりかかります。この際、商人の方から日光例幣使のもとへ売り込みに来るので、任命された日光例幣使は金額の多い商人の荷物を選んで運びました（京都の大商舗は江戸に出店を持ち「京都⇄江戸」の流通が成立。）。

宿泊費や経費は格安で、荷物の運搬賃も各宿場の負担。さらに運び屋（特に呉服類は高額で取引されたので儲かったようです。）としての収入もあったので、旅費 216 両は使わず懐に入り、費用もかけずにボロ儲けできたのです。

公家の身分なのにお金のためなら運び屋もやるとは「おぬしも悪よの」ですよ。

## 旅先でおいしい見返りはあったのですか？

新しい金幣を東照宮の神前に奉獻後、旧幣は下げることになるので、この旧幣を細かく刻んで一片ごとに奉書紙に包み、裏に家康の神号である「東照権現様御神体（とうしょうごんげんさまごしんたい）」と書きます。これを帰路、江戸在住の大名や旗本らへ配布して家格に応じた金額を初穂料として徴収し、一財産を築くほどのお金を持ち帰りました。

さらに宿場で例幣使は、「天照大神の子孫である天皇家の遣い＝神扱い」されていたので、「例幣使の残飯を干して乾燥させて菊の紋章入りの紙に包んだものや、入浴した残り湯」などを万病に効くと信じた庶民らに売り、庶民らは争って購入したようです。例幣使の籠の下をくぐると疱瘡（天然痘）に罹らない（罹っても軽くすむ）ともいわれ、夜間に本陣に忍び込む者も後を絶ちませんでした。江戸時代の死因のトップが感染症で、10年おきに大流行していたようです。特に天然痘は死亡率が高く、仮に生き残ったとしても醜いあばたのようなものができてしまったので、このような迷信が流行したのでしょう。

## 日光例幣使の随員は嫌われたようです

例幣使の随員へ支払う心付けのことを入魂（じっこん）といいますが、朝廷・例幣使の権威を背景に宿方の者たちへ金銭をねだる悪質な随員が多かったようです。わざと駕籠（かご）から落ちて金銭を要求したり、幼稚な行為から難癖をつけ入魂をねだるのです。

この悪態は、京都商人が店に出入する町の無頼者を、「荷物番」にしたことが始まりです。

## ゆすり（揺すり・強請り）の語源は例幣使街道にあり

御三家に続く格式の例幣使一行が通ると、大きな大名行列でも通行を遠慮し、沿道の住民は土下座して一行を見送ったといわれています。

しかし、例幣使である公家の収入は低く、一行50人のほとんどが魚屋、八百屋など公家に出入りしていた商人だったようです。前項の説明のとおり、その中には権威を悪用する不心得者が少なからずいて、疲れたとあって駕籠に乗り、駕籠から「相談せんか！（金を出せ！）、相談せんか！（金を出せ！）」と声をかけます。「袖の下」を出せば大人しくするということです。しかし、担ぎ手が金を出さないと激しく駕籠（かご）をゆすって催促、わざと転がり落ちて「無礼者、このままではすまさぬぞ！このうえは公儀のお裁きを！」と脅したと言われていました。彼らは「報告せい」が口癖でした。

このような場合、村役人が詫びて金を渡してその場をおさめたそうです。このことから金品を要求することを「ゆする（揺する）」と言うようになったといわれています。

京都の宇治茶を将軍家に運んだ御茶壺道中（おちゃつぼどうちゅう）も同様の悪態で、「ずいずいずっころばし」の童謡にもなっています。一壺大判1枚の価値に相当する極上茶も運んだようです。お茶のCMで有名な上林家は宇治茶師の筆頭でした。

## 日光例幣使は大名行列よりも格上だったのですか？

日光例幣使の前では、大きな大名行列でも通行を遠慮しなければなりませんでした。

宿泊について、本陣（宿場で大名が宿泊休憩する場所）休泊者2名以上が同一宿駅に同日に到着することを指合（さしあい）といいますが、日光例幣使一行と指合ってしまった

大名は、御三家を除きすべて譲らねばならず、道中ですれ違う場合も道譲らねばなりません。横道や立場茶屋があれば大名の乗物はそこに入れ、なければ道の片側に寄り大名自身は下乗、家中は当然下乗下馬しなければならないので、事前に日光例幣使の日程を把握した上で、参勤・日光へ参向していました。

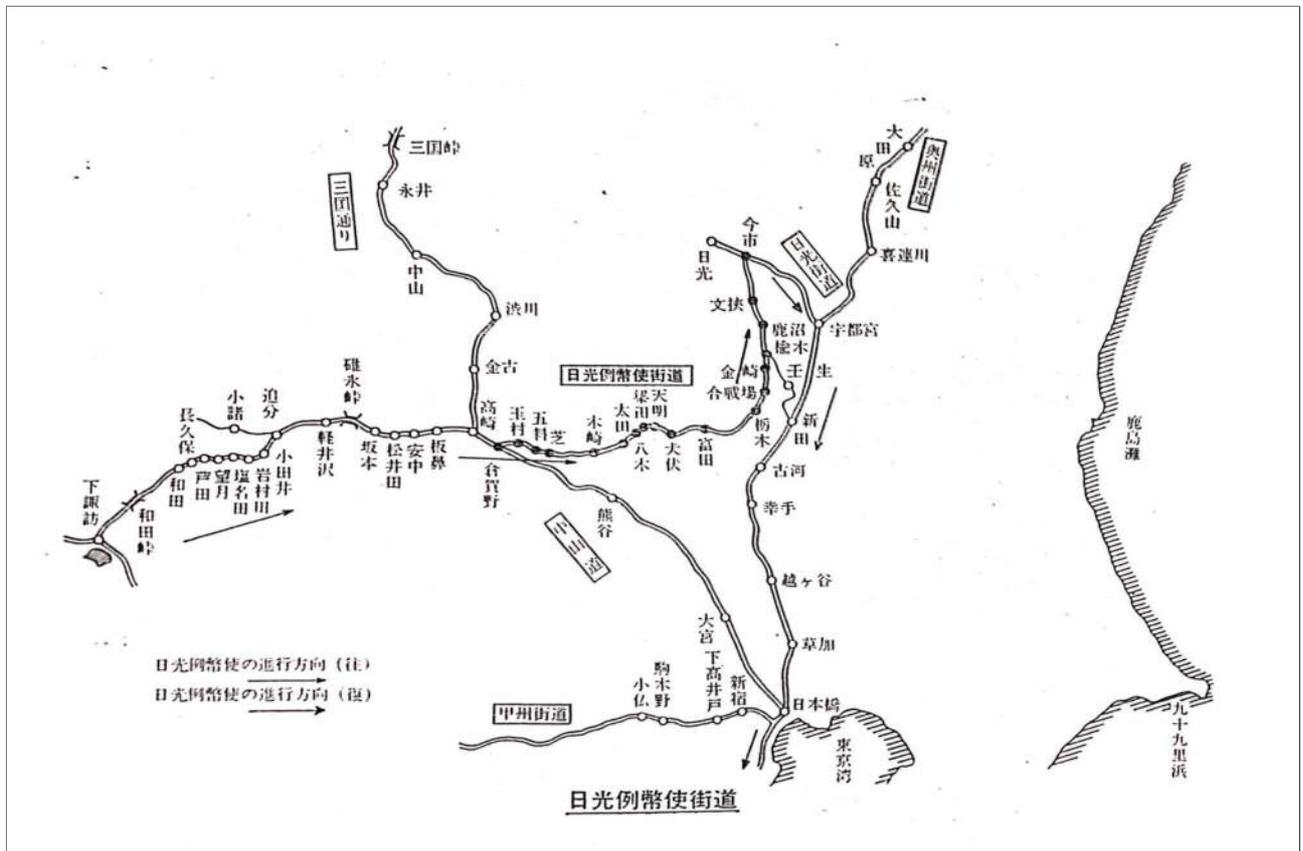
御三家の尾張家と享保13年(1728)4月13日に天明宿(佐野市)で指合となったことがあります。日光例幣使は例年、この日は天明宿の本陣に宿泊するのを常としていましたが、尾張家に譲って栃木宿本陣に宿泊しています。やはり御三家は強かったのですね。

### 日光例幣使以外の例幣使はいますか？

本来、例幣使とは京都の朝廷から伊勢神宮の神嘗祭(毎年9月11日)へ、奉幣のために遣わされる勅使で、五位以上の諸王の中から占いで決めたそうです(中世以降奉幣のことを例幣と呼ぶようになりました。)

応仁の乱の時期には派遣はお休みしたようです。

江戸時代に派遣された日光例幣使と区別するために伊勢例幣使とも呼ばれます。



下諏訪—日光—江戸の拡大図 柏書房日光例幣使街道より

5 択問題：東照宮の神輿舎の3基の神輿のうち、1基は徳川家康を祀っていますが、あと2基は誰を祀っているか？(答えはP6)

- 1 徳川家光 2 源頼朝 3 坂上田村麻呂 4 平清盛 5 豊臣秀吉



# 合戦場周辺の地図はこちらです



答え： 2 源頼朝（神輿舎正面左） 5 豊臣秀吉（神輿舎正面右）

## 合戦場には瀬戸内寂聴さんも訪れた 首切り場が存在した！！

# 首切り場（処刑場）

昭和四十七年（一九七二）一月十七日、瀬戸内寂聴（当時瀬戸内晴美）さんが、宇都宮刑務所栃木支所（現栃木女子刑務所）で獄死した金子文子受刑者の取材・調査で訪れ、合戦場の地名を「余白の春」で記しています。



**首切り場**（罪人を処刑したところ）平川の飛び地のため住所表記は平川

現在は立派な供養塔（写真：合葬の碑・地蔵尊）があり、栃木刑務所（法務省）管轄です。

明治15年（1882）1月1日付で明治政府は「斬首刑」での処刑を廃止し、その後は栃木監獄所（現栃木刑務所）の、服役中に死亡し引き取り人のいない受刑者（無縁仏）の共同墓地としていました。

供養塔の台石には

「無縁仏たちを合葬し、その霊を弔うために地蔵尊を建てる」と刻印されています。

昔はうっそうとした蛇の出る雑木林でしたが、現在は木も伐採されてすっきりとしています。

400坪ある敷地内（写真）は施錠されていて中に入ることはできません。

大正15年7月31日、大逆事件※1で無期懲役となり獄中縊死※2した金子文子の遺体を、支援弁護士一行らが掘り返した下りが余白の春（瀬戸内晴美著）にあります。

※1 天皇・皇后・皇太子を狙って危害を加えようとする罪 ※2 縊死とは首つり自殺

# 世界に誇る日立製作所創業者

おだいらなみへいおう

## 小平浪平翁生誕地の合戦場

合戦場出身の偉人には世界に誇る日立製作所の創業者小平浪平翁がいます。

門前にある小平浪平生誕地碑の裏面には

「日立製作所をつくり

日本人の秀でた民族であることを

世界に示した・・・」

と刻まれています（写真左下）。

日立精神の柱 貴為和以（和をもって貴しとなす）



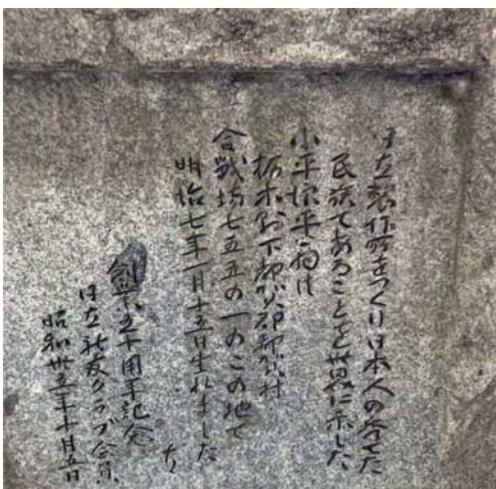
小平浪平翁



石碑は久原房之助氏の揮毫



合戦場郵便局向かいの小平浪平生誕地



裏面の元副社長 高尾直三郎氏による碑文

- 明治 7年 1月 15日 合戦場に生まれる
- 明治 13年 合戦場小学校に入学（当時は淑慎学舎）
- 明治 21年 栃木高等学校入学
- 明治 24年 第一高等学校入学
- 明治 27年 村井弦斎を訪ね進路相談 電気工学を志願する。
- 明治 29年 東京帝国大学工科大学電気工学科入学
- 明治 33年 藤田組小坂鉦山入社（久原房之助氏と出会う）
- 明治 39年 久原鉦業所日立鉦山に工作課長として入社
- 明治 40年 日立鉦山工作課長に任ぜられる
- 明治 42年 5馬力モーター製作
- 明治 43年 日立鉦山日立製作所を創業
- 大正 9年 株式会社日立製作所専務取締役（昭和 4年社長）
- 昭和 26年 永眠（享年 78歳）

おだいらなみへいおう

## 小平浪平翁に関係の深い人物

### 村井弦齋（むらい げんさい）

（1864年1月26日～1927年7月30日）

ジャーナリスト 小説家

郵便報知新聞の編集長で「報知の四天王」と呼ばれた。小説家として未来戦記、政治小説、発明小説の発表により「SF小説の先駆者」とも。

代表作としては、百道楽シリーズの「食道楽」。昭和のグルメのコミック（美味しんぼ、クッキングパパ、ミスター味っ子等）の先駆けともいわれている。

浪平翁は、小学校時代に父の生家である栃木町の大沢家で出会い、「文章軌範」の素読を教わった。

明治27年5月12日に品川の村井宅を訪れ、将来の進路相談をしている。後の電気工学を志すきっかけをつくってくれた人物。



晩年の村井弦齋



藤田組小坂鉦山時代

### 久原房之助（くはら ふさのすけ）

（1869年7月12日～1965年1月29日）

久原財閥総帥 立憲政友会総裁 二・二・六事件に深く関与し、政界の黒幕・フィクサーとも。

浪平翁との出会いは秋田県藤田組小坂鉦山にて。その後、赤沢銅山（茨城）を買収し日立銅山（日本三大銅山は栃木の足尾、茨城の日立、愛媛の別子。）と改称し、久原鉦業所を設立。のち日本鉦業と改名し、現JXTGホールディングス。鉦山経営から企業を拡大し新興の久原財閥を形成したため、「鉦山王」と呼ばれた。

久原財閥は第一次世界大戦後の恐慌により経営が厳しくなったため、義兄の鮎川義介に譲渡し久原は政界進出。鮎川は日産自動車の基礎をつくった。合戦場の小平浪平生誕地の碑表面の揮毫は久原氏によるもの。ちなみに東京白金の八芳園は久原の私邸だった。

### 高尾直三郎（たかお なおさぶろう）

（1886年～1970年）

元日立製作所副社長

浪平翁と43年もの間苦楽を共にし仕えた人物。浪平翁との出会いは明治41年東京帝国大学工科大学電気工学科の実習のため日立鉦山にて。その後明治42年入社。

明治42年、5馬力モーターの設計を任される。浪平翁の指導を受けながら、初めから図面を起し日本初のモーターを完成させ、浪平翁の片腕として明治43年に入社した馬場桑夫とともに大会社日立製作所をつくりあげた。

浪平翁が学生時代の6年間を書きつづった「晃南日記」を世に知らしめ、翁のおいたちを世にデビューさせた。「小平さんの想ひ出」、「日立とその人々」を執筆。合戦場の小平浪平生誕地の碑の後ろの碑文は高尾氏によるもの。



浪平翁を世に知らしめた元副社長高尾直三郎氏

おだいらなみへい

ぎへい

## 小平浪平翁を支えた 兄 儀平氏について

日立製作所創業者小平浪平翁は、裕福な家庭で育ち何不自由なく勉強して大学まで卒業できたのでしょうか？

浪平翁の遺稿である身辺雑記の中に「兄の恩」という項があります。

鉛丹※1づくりをしていた父 惣八氏が47歳で亡くなり（当時浪平氏17歳）、医師を志していた長男である兄 儀平氏が優等の成績にもかかわらず、東京の第一高等学校（旧制一高※2）3年の時に退学して家計の柱となるため、地元第四十一国立銀行（現みずほ銀行）の最下級職員となり、父の負債整理と弟 浪平氏の学費を捻出しました（当時家督は長男が継ぐ時代）。

浪平翁の活躍は、自己犠牲をして親代わりとなった兄 儀平氏の大きな支えと、それに応えようと努力したからだったのでしょうか。

「晃南日記※3」には、「自分の道を自分なりに進むまで」と記されていて、日立製作所を興した精神「自主独創」の原点を垣間見ることができます。

自分の夢半ばにして断念、親代わりとなって合戦場の地から弟 浪平翁に支援を継続した兄 儀平氏の大きな存在があったことを再発見していただきたいです。

「創業の原点は合戦場にあり」と。

兄  
儀平氏  
小平家遺影より



親代わり  
支援

弟  
浪平氏  
(小坂鉦山時代)



左：小平惣八製

鉛丹

明治十年頃と記載されている

(1877年～87年頃製造されたもの)

鉛丹は光明丹（こうみょうたん）、赤鉛（せきえん）、赤色酸化鉛（せきしょくさんかなまり）とも呼ばれる赤色だが、小平家に残る鉛丹はオレンジ系に変色しています。

小平家の鉛丹製造が小平浪平翁の日立製作所のものづくりの原点にもなっています。

※1 えんたんと呼ぶ。鉛を鍋の中で溶かして熱を加えて酸化させた赤い粉末。船底に塗ると船速を遅らせる貝類を付着させず腐食防止剤にもなる。東照宮の塗料にも使われた。製造者の鉛中毒の危険性大。父惣八は鉛丹の原価計算をしなかったことにより事業に失敗したが、失敗は浪平翁の日立製作所のネジ1本まで計上する厳しい原価計算の原点にもなっている。

※2 第一高等学校（旧制一高）の生徒は、ほとんどが東京帝国大学に進学。

※3 浪平翁が学生時代の6年間を書きつづった青春日記。副社長高尾直三郎氏により公表された。

## 浪平翁の儀平氏への想い

晃南日記では、浪平翁が一中生としてスポーツに興じ、遊びに時を費やし、絵を描き、お菓子に舌鼓を打っている記述が頻繁にあります。

明治26年の1年間にボート関係30回、寮生の茶話会、英語学校同窓会、潮干狩りへの参加10回以上、小旅行7回。家族との団欒、学問に携わるものとしての自負、国家意識の大きな高揚、学生生活をとて謳歌している様子がうかがえますが、対照的な沈痛な思いも記述されています。

明治26年2月19日（日）、儀平氏と上京した弟勲を上野動物園に案内した2週間後の3月3日（金）、儀平氏から届いた手紙に一編の漢詩がありました。

每思曾遊豈莫鬻 夢魂夜々問帝都 墨陀江畔花千染 白子村頭月一輪  
春深短艇乏芳沢 更老巖霜壓弧劔 数奇今日漫休笑 我亦当年得意人

これを訳すと

- ・かつて遊学したこと時のことを思うたびに（途中で学問を諦めねばならなかった）無念の思いに顔をしかめてしまう。
- ・夜ごと夢に見るのは帝都のこと。
- ・隅田川河畔には桜花が咲き誇るが、・私が住む村の上には月が一つ懸るだけだ。
- ・春たけなわの（墨田の）川面にはボートが浮かんでいるが、
- ・合戦場では巖霜が年経た孤独な私を圧する。
- ・不遇な私を笑わないでくれ、・私もかつては得意の若者だったのだ。

これに対し浪平翁は

「宇宙を呑む大志も半途に破れ、山海を覆す謀遂に就らずして田間の一農夫となる。其意又思ふ可し。只だ之をして快ならしめ、之をして満足せしむは只我のみ焉」と。

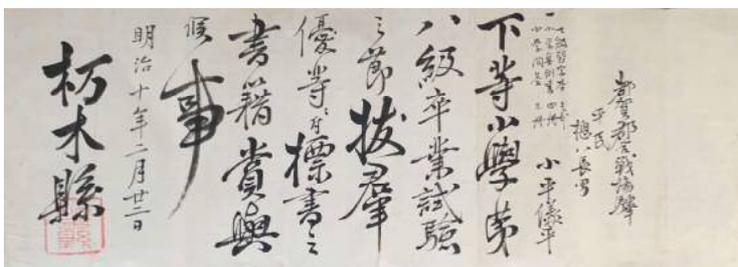
父の死により、医師を志していた秀才（合戦場小学校では県の優等表彰：写真左）が、家を守るために地方の銀行の最下級職員として、仕事の合間に農業をする選択を強いられました。

母親のチヨからは「正直者たれ」と家庭教育を受け、持って生まれた誠実さと努力により銀行員として成長していきました。（入行当時は四十一銀行：写真右、のち第一銀行となり、栃木支店と宇都宮支店の支配人にまで昇格）。

家族思いだった浪平翁も学業を断念すると主張しましたが、儀平氏の強い希望で学業を継続することになりました。

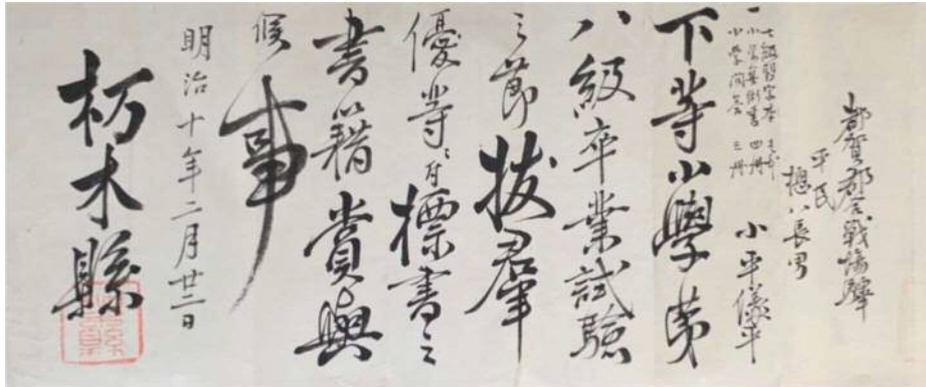
その後、母チヨも人を雇って製茶業を拡大し養蚕も行ったことにより、栃木町北部地区の家中村合戦場の有力地主として家運を盛り返すまでになりました。

浪平翁が親以上に想って尊敬してやまなかったことは当然であったといえます。



栃木株式會社四十一銀行

おだいらぎへい  
 栃木市に寄贈される小平儀平氏の卒業證等9点



明治10年栃木県より成績優秀者として表彰



西暦不明 6月28日  
 第一高等中學入學志願證票



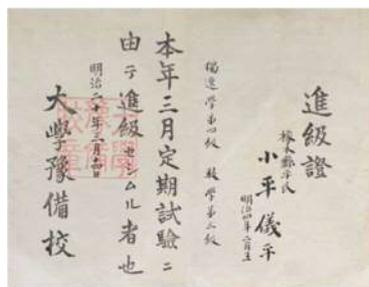
明治10年簡易小學校全科卒業  
 卒業證



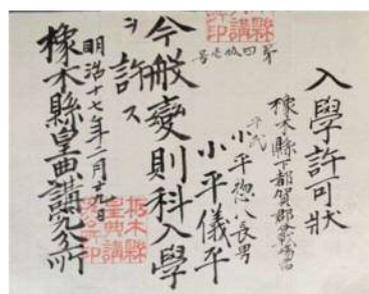
明治12年下等小學校第四級  
 卒業證



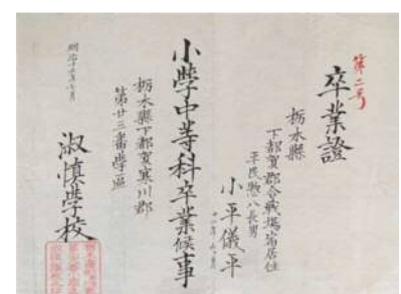
明治10年下等小學校第八級  
 卒業證



明治22年大學予備校  
 進級證



明治17年栃木県皇典講究所  
 入学許可狀

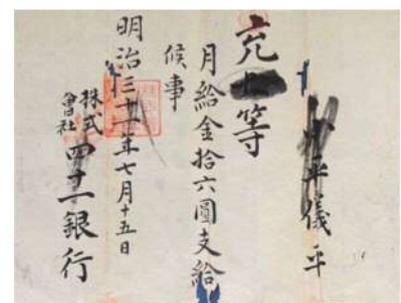


明治16年小學校中等科  
 卒業證

浪平翁の兄 儀平氏の明治10年から31年までの卒業證等9点が、合戦場の知名度を全国区にする会により市中より買い戻され、栃木市に寄贈されます（記念館が準備でき次第）。

寄贈まで合戦場郵便局内に展示しています。

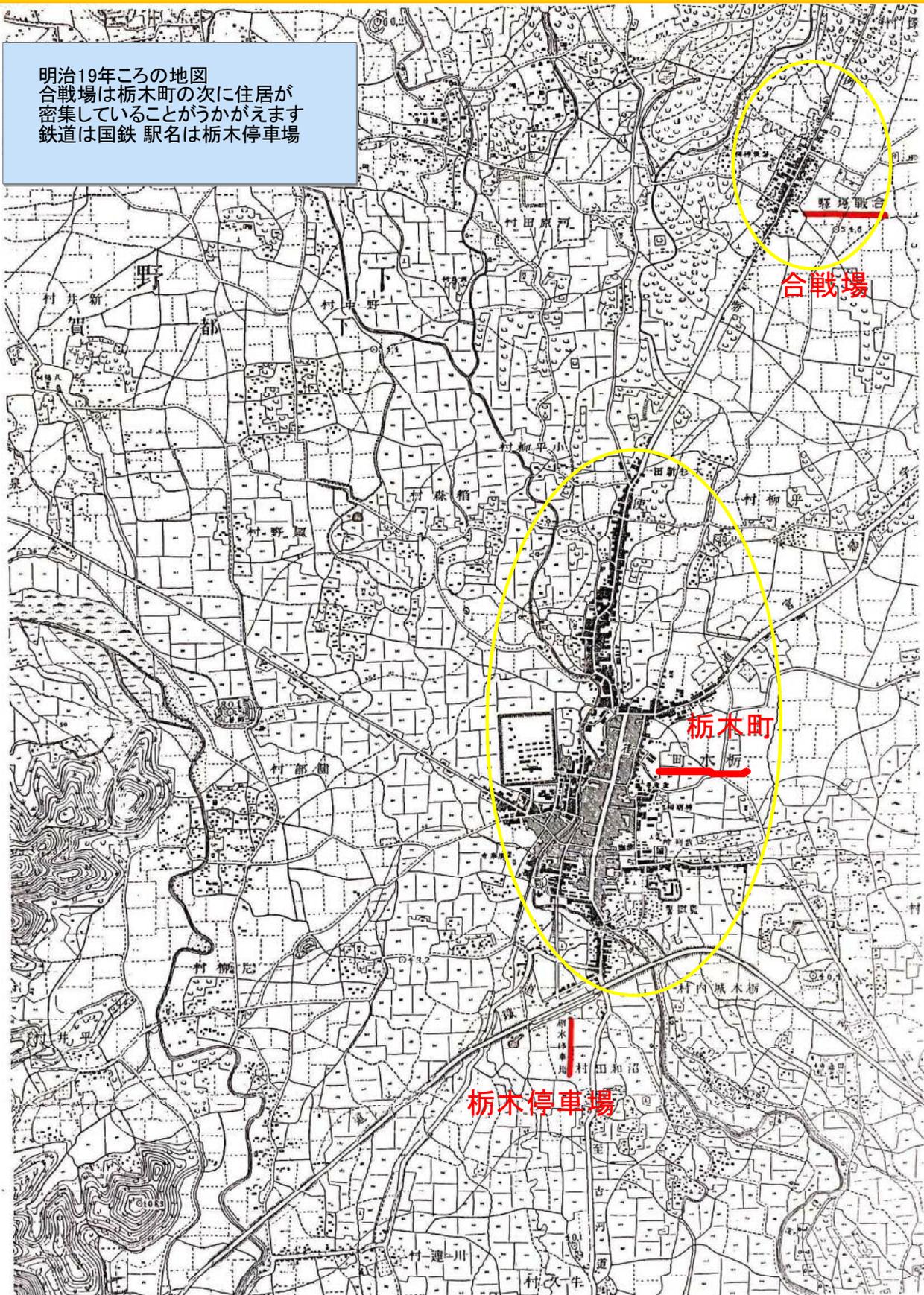
これらの合戦場の財産が市中に出回っていて、長い間所在不明になっていたことは残念なことでしたが、この寄贈によって合戦場の財産が合戦場に戻ってきました。



明治31年四十一銀行辞令  
 (現みずほ銀行)  
 月給金拾六圓支給

# 浪平翁が栃木小学校へ通っていた 明治19年頃の栃木町と合戦場の地図

明治19年ころの地図  
合戦場は栃木町の次に住居が  
密集していることがうかがえます  
鉄道は国鉄 駅名は栃木停車場



## 合戦場小学校 3 階 歴史資料室

3 階の歴史資料室には、明治 6 年の淑慎学舎からの合戦場小学校の歴史と、今は存在しない小平記念図書館の思い出が展示されています。  
当時の風景を 15 ページから写真付きでご紹介します。



合戦場小学校 3 階の歴史資料館



昭和 21 年昭和天皇へご説明



内壁一面に合戦場小学校の歴史と小平記念図書館の思い出が飾られています  
一般の方も事前にご連絡いただければ見学可能です。合戦場小学校 0282-27-2237

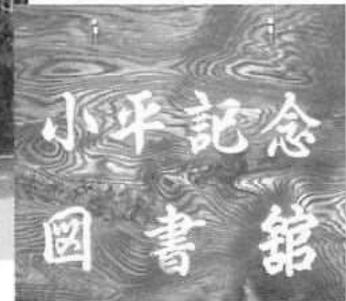
小平記念図書館は日立製作所創業50周年記念(1960年昭和35年)に合戦場小学校に寄付された100万円により建設されました。東京湯島の小平記念病院も同時期に建設されました。

現在は残っていない  
小平記念図書館と小平浪平翁の思い出

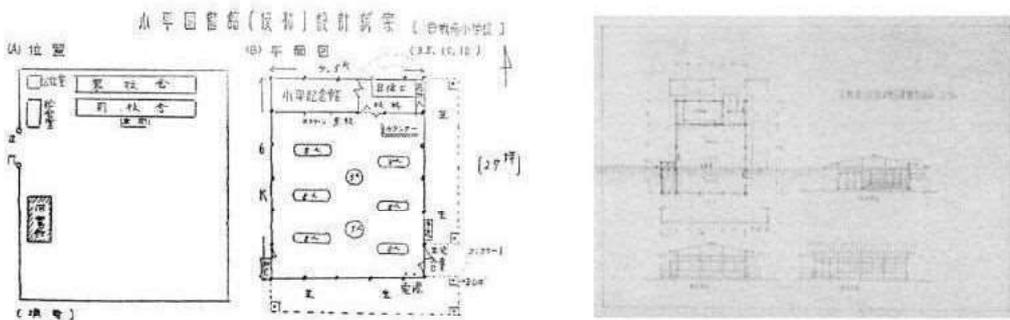
写真は合戦場小学校130周年記念誌かがやきより



当時の小平記念図書館(昭和36年)



現在保存されている木の表札(看板)



小平記念図書館の設計図

当時の新聞記事

THE SHIMOTSUKE 昭和36年1月20日 (金曜日)

**モダンな図書館が完成**  
都賀村合戦場小学校

都賀村合戦場小学校に、ほどほどモダンな図書館が完成した。これは昨年十月、日立製作所が創立五十周年を記念し、初代社長故小平浪平氏の出身校である同校に

写真：小平記念図書館  
寄附したもので、小平記念図書館を建てたもの。同館は日立製作所の製品であるヒッポライト(特殊合成樹脂)をドアや机に使い、記念室には小平氏の少年時代からの作品や記念を飾ること



小平記念図書館  
校庭より東側を望む



小平記念図書館全景



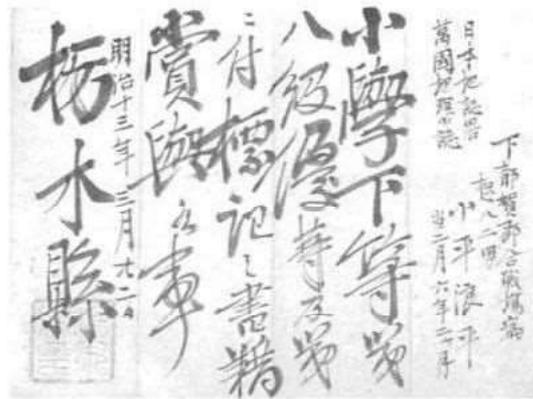
落成に奉納された升塚の獅子舞



昭和36年 校舎・小平記念図書館



小平浪平翁胸像



淑慎学舎当時の浪平さんの優等賞



小平浪平さんの少年時代の作品  
(特に図画工作が得意であった)

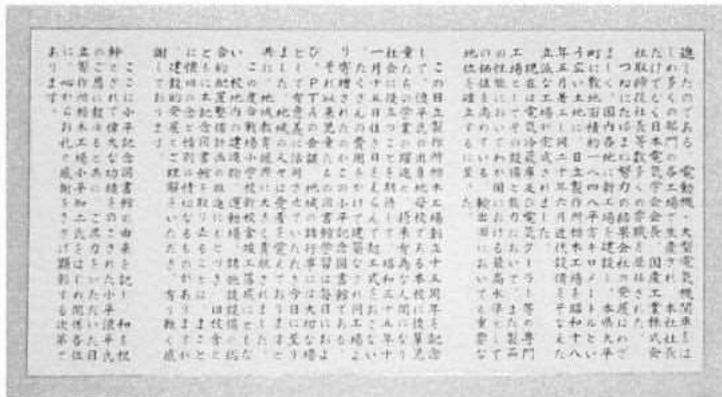
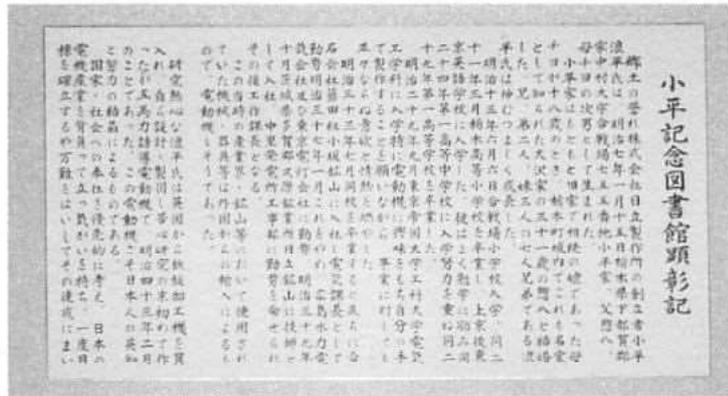


思い出の品々が展示されていました

小平記念図書館の内部の様子  
(記念館)



昭和56年新校舎竣工に伴い、  
旧校舎とともに本記念図書館を  
取り去るにあたっての顕彰記



小平記念図書館顕彰記



贅沢な造り（天井）

小平記念図書館の内部の様子  
（図書館）



# 小平浪平生誕地が栃木市に寄贈されました

掲載日:2018年10月06日, 面名:各地, 記事ID:KIJ20181006\_01023000100305008

(C)下野新聞社 無断複製転載禁止。  
下野新聞二次転載許可申請済

## 栃木・都賀出身、日立創業者

小平道彦さん(右)から自録を受け取る大川市長



顕彰団体「小平浪平翁記念会」(会長・大川吉弘)

【栃木】都賀町合戦場にある、市出身で日立製作所創業者、小平浪平(1874~1951)の生家が、小平の血縁者から市に寄贈されることになった。小平の命日である5日、都内で贈呈式が行われた。市は今後、生家を活用した顕彰事業に力を入れていく。(斉藤章人)

## 命日に親族市、顕彰事業へ活用

# 小平浪平生家市に寄贈

平成三十年十月五日(小平浪平氏命日)に、小平浪平生家が兄の孫にあたる道彦氏により栃木市に無償譲渡された。働きかけた小平浪平翁記念会(会長・大川吉弘栃木商工会議所会頭)も顕彰事業の費用として市に一千万円を寄付しており、世界に誇る合戦場出身偉人の今後の顕彰事業活動が注目される。

栃木市都賀町合戦場に建つ、小平浪平の生家



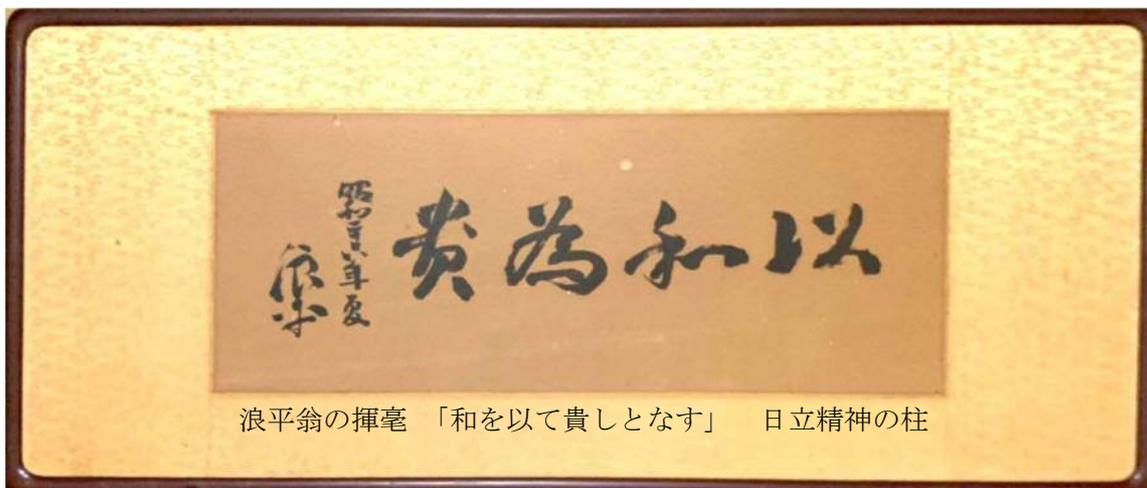
木商工会議所会頭)の働き掛けで、小平の兄の孫にあたる小平道彦さん(82)が都内在住Ⅱが市に無償譲渡した。生家は例幣使街道沿いにあり、敷地面積は宅地や畑を合わせ約2400平方メートル。木造瓦ぶき2階建ての

母屋や土蔵、小平が少年時代に勉強していた離れなどがあり、門前に石碑が立つ。小平は同所で生まれ育ち、東京帝大を卒業。鉱山会社勤務を経て1910年に独立し、同製作所を創業。世界的企業となる礎を築いた。生家は一族が引き継ぎ、近年は道彦さんが都内から定期的に通いながら管理していた。だが生家は空き家で普段は門を閉鎖。道彦さんも「個人で残していくのは難しいと感じた」という。同記念会が道彦さんと市を仲介し、今回の寄贈に至った。贈呈式はこの日、同記念会の第2回通常総会の席上、行われた。道彦さんから大川秀子市長に自録が手渡された。道彦さんは「生家が公の手に移り未永く保存されるのが、故人(小平)が望むことだと思ふ」と話した。栃木商議所も顕彰事業の費用として、市に1千万円を寄付した。市は今後、同記念会や同製作所と意見交換しながら、生家の活用法や顕彰事業の内容などを検討していくという。大川市長は「(小平は)市として誇れる偉人。寄付を十分に生かし、顕彰活動を進めていきたい」と話した。

2018/10/6 下野新聞

## 小平浪平翁生誕地の風景

小平浪平翁生誕地には、浪平翁の描いた直筆画や揮毫（きごう）も現存していて、その他美術品なども数多く残されています。



今回初めて公にされた浪平翁の直筆画



座敷の屏風



座敷の揮毫と美術品

# 小平浪平翁の精神を学ぶ「晃南塾」が 栃木市と栃木商工会議所が一体となって始動

(C)下野新聞社 無断複製転載禁止。

二次転載許可申請済

地域 18

## 県南・両毛版

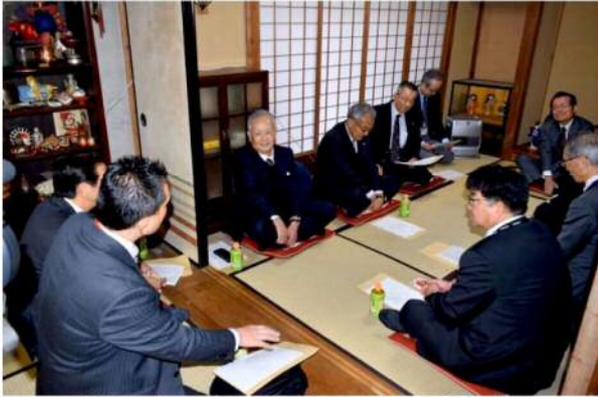
SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

ものづくりの聖地合戦場に

# 晃南塾開塾

## 小平浪平の 精神を学ぶ 官民一体「晃南塾」を設立

### 精神を学ぶ



晃南塾開塾式で和やかに意見を交わす参加者たち

晃南塾幹部に局長の広報活動を説明する  
合戦場郵便局漆原局長(左下)

### 栃木の生家で開塾式

#### 来年から一般募集

【栃木】市出身で日立製作所創業者の小平浪平(1874-1951年)のものづくりの精神や事業理念を学ぼうと、小平浪平翁記念会や市、栃木商工会議所などは15日、「晃南塾」を設立した。同日、都賀町合戦場の小平浪平生家に関係者約20人が集まり開塾式が行われた。勉強会などを継続的に開き、来年からは一般の塾生も募集していく予定だ。(湯田大士)

塾は行政と民間が一体となり、小平について学ぼうと小平の功績を顕彰し、まちづくりに生かしていくことが目的。小平が学生時代に志や夢をつづった日記「晃南日記」にちなんで命名された。

塾長に同記念会の福山裕幸名誉顧問、顧問に南高好伸副市長やライフスタイルの研究を行っている東京都大環境学部の古川柳蔵教授らが就いた。塾長や顧問が講師となるほか、テーマに合わせて外部講師も呼び、3カ月に1

いて、「若い人にも学んでついでいきたい」と展望し  
もらい、市の独自性をつくった。

晃南塾宣言

我々は、郷土の偉人小平浪平翁の我が国モノづくり産業界に対する功績と事業理念の顕彰、事業を志す若者の人材育成、ライフスタイル変革による未来の栃木エリアのまちづくり等の施策を研究開発することを目的とし、ここに塾を設立し活動することを宣言する

塾の名称は小平浪平翁が青雲の志や夢を綴った学生時代六年間の「晃南日記」に因んで「晃南塾」とする

令和二年一月十五日

栃木市都賀町合戦場  
小平浪平翁生誕地にて

晃南塾一同

## 小平浪平生誕地の碑の後ろの石は 神の峯からのパワーストーン！

日立製作所創業者小平浪平生誕地の碑の後ろの石は、浪平翁のお気に入りの石として、茨城県日立市の神峰山（かみねさん標高 598m）から移設したものです。

神峰山には日立鉾山のシンボルである 156mの大煙突があり（平成 5 年に突然折れ、現在は 54mまで短くなっています。）、浪平翁はこのお気に入りの石に腰かけて日立の街並みを眺めるのが好きでした。

日立製作所創業 50 周年記念（昭和 35 年）に、日立製作所創業者小平浪平生誕地の碑を設置するにあたり、創業社長であった浪平翁のパワーを感じ取った石も合戦場の生誕地に移設されました。

神の峯から移設された「浪平翁パワーストーン」のパワーをチャージしようと、柵の横からそっと手を伸ばす方が増えています。

「浪平翁パワーストーン」は茨城県日立市の神峰山から移設され、実際に浪平翁が腰かけたことでそのパワーを感じ取っています。日本初のベンチャー企業から世界規模の大会社に成長したので、その創業社長のパワーをチャージにこの地を訪れる方もいます。



柵から石に触れパワーを感じてみてください

## かみね 神峰山（神峯山）、日立鉱山の大煙突とは

茨城県日立市にある標高 598mの山で、山頂には神峰神社、日立大煙突記念碑があり、150mには日立市天気相談所の気象観測所があります。

大煙突は、日立市民の歌や市内の小学校の校歌でも大煙突が歌われているほど日立市民に愛されています。

日立市では大煙突から出る煙で天気予報ができるといわれています

「煙が太平洋に向かうときは晴れ、入四間の方には曇り、大煙突の煙が北西にたなびくときは雷に注意」

### 1) 世界一の高さで環境問題を解決！？

約 100 年前、日立鉱山の煙が近隣の植物を枯らしてしまいました。さまざまな対策が講じられるなか、久原房之助が主体となって、高い煙突をつくり煙を拡散する方法にたどり着きました。大正 3 年 12 月 20 日、当時では世界一の高さを誇る大煙突が完成、煙の害は激減しました。

大煙突建設は約 100 年前に行われた環境問題を解決しようとする一大プロジェクトでした！

### 2) たった 1 年で完成！？

大正 3 年 3 月に着工し、同年 12 月には完成、翌年 3 月には稼働していた大煙突！恐るべきスピードで作られました！

完成までのスピードもさることながら、高さはなんと当時世界一の 155.7 メートル。さらには当時国内では技術が確立されていなかった鉄筋コンクリート製。工事で使用した足場丸太は 30,000 本、作業した人の数は 36,840 人！大煙突の名に恥じぬ「大工事」でした！



平成 5 年に折れて 54m になった大煙突



全盛期 156m あった頃の大煙突

参照：日立市ホームページ

合戦場郵便局の「金のポスト」はここからはじまった

# オブジェに変身 金色丸型ポスト



「金色の丸型ポストで町おこしにつなげたい」と話す漆原局長

全国的に合戦場のポスト(地位)と金運の上昇を招く存在になりたい」としている。

「金色の丸型ポストで町おこしにつなげたい」と話す漆原局長

全国的に合戦場のポスト(地位)と金運の上昇を招く存在になりたい」としている。

## 解説添え 「例幣使街道」後世に

同局は1872年、県のうちのの一つ。金色のポストは最初に開局した30カ所。ポストは1949年製で、

【栃木】県内で最も古い歴史を持つ郵便局の一つ、都賀町合戦場の合戦場郵便局は、入り口脇に金色の丸型ポストをオブジェとして設置した。金色のポストは全国でも珍しく、同局前を通る日光例幣使街道で運ばれていた金幣

(藤田賢)

にちなんだ。同街道の由来を後世に伝えるのが狙いで、漆原康史局長(40)は「目にした人たちに例幣使街道の意味を知ってもらい、地域活性化につなげたい」と話している。

丸型ポストでは最古のタイプだ。高さは約125センチ、幅約45センチ。約30年前に箱型ポストが導入されたから同局の倉庫で眠っていたが、3月中旬に漆原局長が倉庫を整理した際に発見した。漆原局長はポストを町

# 県南・両毛版

平成二十六年五月二十三日(金)  
下野新聞 二十六面  
県南・両毛版

## 金運・開運の町としての環境整備

合戦場が金運・開運の町であるという歴史的裏付けはありましたが、それを示す標識やシンボルがありませんでした。

そこで、金運・開運のシンボリックな金のポストを作成、2014年5月23日の下野新聞でデビューさせ、7月1日の合戦場郵便局開局142周年記念式典に、正式に公にお披露目されました。

栃木ケーブルテレビ、合戦場地区の多くの皆様をお招きした大イベントに、当時無名であった栃木市のゆるキャラ「とち介」も、自身のPRのために駆けつけてくれました。

その後、金のポストをなでなでし、宝くじを買って初めて10,000円が当たった方の話が巷に広まると、合戦場の金のポストがパワースポットだと全国に広まるようになりました。(自己申告による効能は次のとおり)

- ・合戦場だけに戦に勝つ！  
→勝負ごとに効果あり(受験・試合等にいい)
- ・日光例幣使が運んだ金幣で莫大な富をもたらしたこと  
→金運アップにいい
- ・日立製作所を創業した小平浪平翁の功績にあやかり  
→地位向上・出世にいい

※合戦場郵便局は2016日本郵便本社営業表彰第1位(Pグループ)を受賞しました



金のポストに必勝祈願をする「とち介」  
みんなで応援しよう！  
ゆるキャラグランプリ上位祈願  
2014/7/1



2016年6月27日 BSジャパン

「出発！ローカル線聞きこみ発見旅」で、合戦場郵便局が金運アップ！？の名所に認定されました。おしんの小林綾子さんと真田丸の新納慎也さんが旅人としてご来局されました。

2017年1月15日 テレビ神奈川・とちぎテレビのキンシオで、合戦場郵便局の金のポストと合戦場の歴史的背景を示した掲示板が紹介されました。

2020年6月1日には、キンシオ10周年の名物キャラとしてゲスト出演(全国9放送局で放送)

2018年9月9日テレ東太川・蛭子のローカル鉄道寄り道の旅で、マドンナ高橋ひとみさんも金のポストを訪れました。

蛭子さんが自筆絵馬を書いていきました。

宇都宮市の石のますぶちさん製作

アーティスティックな日光例幣使街道合戦場宿を示す石碑が設置され、石碑の穴(表・裏)から金のポストと小平浪平生誕地の碑の写真を撮ると、お互いの地位(ポスト)が表裏一体となり、**見通し**がいいといわれています。

# 見通しがいいといわれている 写真はこちら！

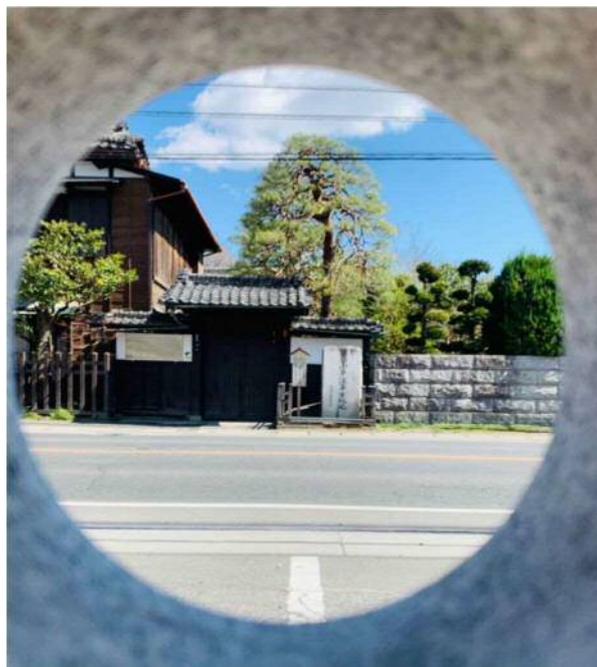
## ポストには地位という意味もあります

- 1 金のポスト（金運・開運の象徴としての地位）
  - 2 日立製作所創業者小平浪平翁のポスト（功績と地位）
- 2つのポストで地位の向上に見通しがいいといわれています。

表（金のポスト）



裏（小平浪平生誕地の碑）



## 写真撮影のポイント

カメラやスマホのレンズを石碑の円の中に少し入れてピントを合わせると、円の丸枠と被写体がきれい撮れます。

# テレビ放送されたひとこま

合戦場の知名度を全国区にした金のポストは、これまでたくさんのメディアに取り上げられました。テレビはBSジャパン、テレビ東京、テレビ神奈川2回、とちぎテレビ2回、新聞は読売新聞6回、下野新聞10回、ラジオはFM東京1回、CRT栃木放送1回、FMくらら3回と、合戦場の知名度を全国区にする発信を継続的に行っています。

2016/6/27 BSジャパン月曜夜 18:30 出発！ローカル線 聞きこみ発見旅



小林綾子、新納慎也さんとの取材風景



局長、小林綾子、新納慎也さんとのショット

2018/1/15 テレビ神奈川月曜夜 23:00 キンシオ 一文字地名の旅 2020/6/4 10周年記念にも出演



不二屋さんの開運メニュー



キンシオさんへ金のポストの説明

2018/9/8 テレビ東京土曜夜 18:30 太川・蛭子のローカル線 鉄道寄り道の旅



局長、太川陽介、蛭子能収、高橋ひとみさん



合戦場の知名度は全国区横断幕が名所案内に

# 「いいねスポット！映えるとちぎ」に認定

# とちぎ

県南編

## 合戦場郵便局

栃木

「何だあれはー」

栃木市都賀町合戦場の合戦場郵便局入口脇で異彩を放つ黄金色のポスト。陽光が差し込むと反射してぴかぴかと輝く。手紙は入れられない。赤色じゃない。まさに「異色」のポストだ。

2014年、地域を活性化させたいという漆原康史局長(46)の思いから生まれたこのポスト。金色は同局前を通る日光例幣使街道で運ばれていた金幣が由来だ。

ネットで「金のポスト」と検索すると合戦場がヒットする。また、多くのメディアが取材に訪れるなど、アピール効果は大きい。同局のシンボルとして地域住民からも愛されている。

パワースポット的な一面もあり、ポストをなでてお参りすることができる。実際に、女子中学生が受験合格祈願でお参りをし願書を同局で出したところ、全て

## 幸運呼ぶ黄金のポスト

合格したという。同局も16年に日本郵便本社表彰を受けるなど業績上々。運氣上昇の御利益は絶大だ。

同局北側のそば店「旬鮮めん 延不二屋」でも金のポストに続こうと、団体用メニュー「運盛り開運御膳」などの提供を始めた。漆原局長は「合戦場は昔から開運の地としても知られる。地域一体となってアピールし、多くの人に知ってもらいたい」と期待を寄せる。

来局者には金のポストと運氣上昇の朱印が押された御朱印風ポストカードを配布している。

「何だあれは」と気になったら立ち寄ってみるのがお勧めだ。合戦場との「出

会い」から開運への道が切り開かれるだろう。

(湯田大士)

**メモ** 栃木市都賀町合戦場753。金のポストは夜、ライトアップされている。同郵便局向かい側には、同所出身で日立製作所創業者の小平浪平の生家も立っている。



金のポストにお参りする来局者。なでることによって開運効果があるとされる。2019年12月

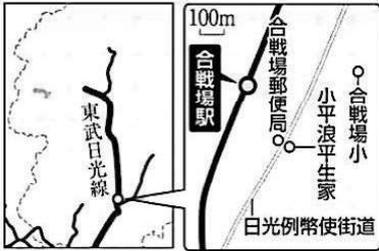
合戦場駅 金のポストが話題に

(第3種郵便物認可)

2020年(令和2年)3月17日(火曜日)

訃言

壹



2016年のインターネット調査「日本一強そうなお駅」ランキングで、神奈川県・箱根登山鉄道の「強羅駅」に次いで全国2位になった。「合戦場」の地名のいわれは、1523年、宇都宮城主宇都宮忠綱と皆川城主皆川宗成が付近で戦い、激戦地となったからとされる。そんな、いにしえの話を伝える駅周辺を歩いた。



金のポストでまちおこし

東武日光線・合戦場駅 (栃木市)



①金色のポストを説明する漆原さん ②合戦場郵便局前の石板の穴から見える小平浪平の生家 (13日)

無人駅の改札口から東に行く、日光例幣使街道沿いに日立製作所の創業者・小平浪平の生家がある。例幣使は、徳川家康の没後、日光東照宮の例大祭に朝廷が「金幣」を贈るために出した使いだ。「この穴からのぞいてみませんか？」街道を挟んだ反対側の合戦場郵便局で、局長の漆原康史さん(46)が局舎前に設置した石板を指さした。穴からは、生家がまるで、切り取った絵はがきのように見える。

「皆さん、スマホで写真撮っていきましょ」と漆原さんは自慢げだ。この郵便局は、金色のポストで有名だ。倉庫にあった1949年製の古いポストを「まちおこし」に使えないか」と、漆原さんが1か月かけて塗装し、2014年に局舎入り口に置いた。「合戦場は例幣使街道の宿場として栄えた。例幣使が運んだ金幣、宿場にもたらされた富。偉人も出た。だから、金運・開運の町。ポストも金色にしました」ポストのお披露目には、



当時また知られていなかった市のマスコット「とろ介」を呼んだ。「なんだい、あれは」と言う声も聞こえたが、とろ介が金色のくす玉のひもを引くと、中から金のポスト落成記念」と書かれた垂れ幕が、「くる、く

これ以降の記事は、オリンピック招致委員会の承認が得られないため、読売新聞の財産担当へ記事の一部を省略して使用許可申請済。

ちなみに  
強そうな駅名  
第三位は  
青森県津軽鉄道  
毘沙門駅  
かっこいい駅名  
第一位は  
東京モノレール  
天空橋駅

その後、テレビ番組の収録で有名人が訪れ、金のポストを全国で紹介。「合戦場」の名前も広まった。漆原さんの目指す街おこしは、近くの「句鮮めん処 不二屋」の白井文男さん(53)にも伝わった。



同郵便局は1872年、県内で最初に開設した郵便局の一つ。「局の歴史の中でも、大きなセレモニーでした」と漆原さんは話す。

## ご朱印（風）授与 平日9:00~17:00 合戦場郵便局

小平浪平生誕地ものつくりの聖地巡礼記念と金のポスト参り

### ご朱印（風）



**ゴールドバージョン** 左上2枚の写真金色系の台紙

特殊印刷で文字がゴールドの台紙の下に印刷されています。

**金銀さざれバージョン** 右上2枚・左下2枚の写真白色の台紙

厚手の和紙に金と銀のさざれが入った高級感のある台紙。

**受験バージョン** 右下2枚の写真黄色の台紙

受験生応援企画としてたくさんの枚数が無料配布されます。

デザインは予告なく変更する場合があります。

# 合戦場繁栄の証

## 昭和2年のガソリン消防ポンプ

合戦場が繁栄していた証のひとつが昭和2年のガソリン消防ポンプです（写真）。昭和天皇御大典（即位）記念に合戦場自治会と有志の寄付により購入したものです。当時は手動消防ポンプ（ガチャコンポンプ）が主流で、ガソリン消防ポンプは高価で合戦場以外所有していませんでした。

手動ポンプの何十倍もの消火能力があったので、8キロ以上遠方の火災の消火にも遠征したこともありました。（当時は人力でガソリンポンプを運んだのでかなりの労力でしたが、新建材でない火災だったので、消火に間に合ったとのことで驚きです。）

保管場所：合戦場公民館



# 旬鮮めん処不二屋で開運

不二屋さんでは五輪応援企画等のイベントが充実していて、遠方から大型バスも訪れます。



金の勝重御膳が  
2018/2/3 下野新聞 朝刊の  
経済面に取り上げられた記事

下野新聞二次転載許可申請済

平昌オリンピック時に五輪応援「金の勝重御膳」を開発  
ゴールデンポーク使用で金づくしのメニューが下野新聞に掲載されました。  
新メニューの開発だけでなく、創業昭和四十年からの伝統の味の継承で、  
合戦場の人気店になっています。  
臼井オーナーは日々お客様に喜んでいただけるめん処を目指しています。



地図は「ちちらびず」

# 不二屋さんの人気メニュー

昭和40年、先代が不二屋食堂として開店させて以来、50余年もの長い間、多くのお客様にご愛顧いただけてきました。その感謝の心を忘れず、お客様がニコニコと満足の笑顔でお帰りいただけるような接客を常に目指しております。

ありがとうの笑顔で



## 四季折々の旬鮮食材

店長が毎日心を込めて手打ちするそば・うどん。栃木県産の地場野菜やヘルシーな四季折々の旬素材を使った季節限定のお料理も楽しめます。しかもボリューム満点で大満足！思わず食べたくなる、美味しそうなデザートも取り揃えております。



## 合い盛り天せいろ

1,150円

【合い盛り・そば・うどん】からお選びください。天ぶらは海老・カニ付きの六点盛りです。



麺が選べる デザートが選べる

## レディスランチ

1,150円

ミニ海鮮丼・ミニサラダ・手打ちそば又はうどん・デザート（白玉クリームあんみつ又はミニチョコパフェ）・香の物



麺が選べる

## 不二屋ランチ

1,100円

海鮮丼・天ぶら盛り合わせ・手打ちそば又はうどん・サラダ・茶碗蒸し・香の物



麺が選べる

## イカ野菜天丼麺セット

800円

イカ野菜天丼・手打ちそば又はうどん・香の物

# 栃木県で人気の合戦場のこうじ屋さん

酵母の生きた 伝統の味

# 本多のこうじみそ

栃木県栃木市都賀町合戦場209-1  
本多糀屋  
代表者 本多貞徳  
電話 0282-27-2299



地図はこちらです



ご来店いただいて店頭でお買い求めいただくのが原則ですが通信販売も可能です。  
電話またはFAXでお申込みください。  
電話 0282-27-2299 (10時~18時) FAX 0282-27-9961 (24時間受付)



## 店主ひとこと

当店は、昔から変わらない伝統の製法で、お客様に安心して食べていただける味噌や糀、甘酒を造っている商店です。生産農家の顔が見える国産の原料のみを使用し、当店店主によって代々受け継がれた伝統の製法で製造しております。

糀造りは昔ながらの室（むろ・・・糀を造る部屋）を使い、手作業で木の箱に分けて造っております。味噌造りは和釜を用い、マキをくべて豆を煮上げ、糀と塩を混ぜ、1年以上ねかせたものを販売しております。販売にあたっては、桶から出したばかりの本当の色と香りの味噌を販売すべく、原則、注文があってから袋詰めを行います。味噌の色、品質は劣化しやすく、“味噌は生もの”と思っているからです。



当店の哲学などという大層なものはないのですが、守るべきこと、不易の部分と申しましょうか、毎日同じことを同じように、結果はまちまちながら、しかし時には流行に沿って、破れる部分はどこか考えてゆきたいと思い、毎日、糀と対話しております。もの造りの意地として、「商品をもってすべてを語らしめよ」を求めてゆきたいと思えます。

本多貞徳



当店伝統の糀菌が住みついた熟成用の蔵

お客様ご自身の目で桶に入っている味噌を見て、袋詰めする様子も見てください。ええ、ご自分の手でお持ち帰りいただくのが最も安心できるお買い求め方法です。

原則、注文を受けてから袋詰めを行います。味噌の色、品質は劣化しやすく、“味噌は生もの”と思ってください。限定商品は、店頭でご予約を受け付けています。

# 合戦場でステーキ！

ステーキハウス トモ&ベンレストランでは、  
ランチのステーキ、ステーキ丼、ピラフ、ハンバーグがお手頃。

夜はぜひご予約のお電話を！

団体様にはお得な特典があります。



ワイン1本  
サービス

◆お食事会・パーティ等お1人様3,000円より  
ご予約承ります。(16名様まで)



◆国産牛・ブランド牛(那須野ヶ原牛)  
那須野ヶ原で育ったジューシーで柔らかく  
甘みのある高級ブランド牛!

ご予約 OK!



## ランチ (税込)

- [A] ランチステーキ **1,350円**
- [B] ランチステーキ丼 **1,000円**
- [C] ランチピラフ **800円**
- [D] 手造りハンバーグ **900円**

ライス・サラダ・ドリンク [付]

## 営業時間

ステーキ AM11:00 - PM14:00  
PM17:00 - PM21:00

【休日】水曜日

★駐車場完備★

トモ&ベンレストラン 電話 0282-51-9151

メニュー・金額は広告予告なしに変更する場合があります。

# 合戦場の知名度を全国区にする会作成の開運グッズ

日々進化していますので、グッズは予告なく変更します。

合戦場の知名度を全国区にする会より

## おみくじ

(どれか1つ入ってます)



**募金は1回100円です**  
ミニ絵馬付ですので願掛けしましょう  
※見られちゃ恥ずかしい方はイニシャルで可

**募金の使い道**  
合戦場宿のPRのために使われます

おみくじ（花みくじか開運みくじ）絵馬付

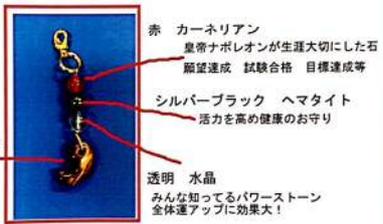


おみくじと絵馬は金のポスト左側へ

合戦場の知名度を全国区にする会より  
材料費1,500円する一品を  
な・な・なんと！**500円**でご提供  
水晶はAAAクラスを使用

### 開運勾玉ストラップ

金運・勝負運・受験運・お守り・願望達成と  
たくさんの願いを叶えてくれることでしょう



赤 カーネリアン  
皇帝ナポレオンが生誕大切にした石  
願望達成 試験合格 目標達成等

シルバーブラック ヘマタイト  
活力を高め健康のお守り

虎目 タイガーアイ  
金運アップ・勝負運  
洞察力を高める  
商売繁盛・仕事運

透明 水晶  
みんな知ってるパワーストーン  
金運アップに効果大！

たまにですが、  
シークレット勾玉も入っています

ラピスとハート型水晶  
恋愛運もアップさせるかも

開運勾玉ストラップは  
オールラウンドな対し  
こちらのシークレット  
ストロップとなっています。  
開運勾玉ストラップに  
プラスして入っています

タイガーアイとAAAクラス水晶  
ザ！金運アップストラップ

開運勾玉金運アップ・開運のお手伝い



上 開運勾玉 左 ラピスハート型水晶  
右 タイガーアイザ・開運アップ

# 合戦場へのアクセス方法

合戦場は東京から東武鉄道やJRを經由してお越しください。  
東北自動車道栃木ICから10分とアクセスの良さも魅力です。



栃木市拡大地図



首都圏広域地図

## 電車でのアクセス

浅草駅から

浅草駅→東武日光線(特急)70分→栃木駅

東京駅→東北新幹線40分→小山駅→両毛線10分→栃木駅

栃木駅からは東武日光線で2駅目→新栃木駅→合戦場駅

## お車でのアクセス

東北自動車道→栃木IC→県道10分→合戦場

### “とちぎ夢ファーレ”助成事業

市民の皆様からの寄付金を原資に、  
栃木市の市民活動を支援する事業です。

栃木アンカー工業株式会社

R元年度  
寄附者

株式会社丸和住宅  
クリエイティブメロー  
有限会社 宮崎商店



合戦場の知名度を全国区にする会 2020/04

照会先: 328-0113 栃木市都賀町合戦場 753 合戦場郵便局内